

平成27年
9月定例会

一般会計補正予算(第4号)等の議案を可決

平成27年第8回(9月)定例会は、去る9月2日から9月18日までの17日間の会期で開かれました。今回の定例会では、「石垣市個人情報保護条例の一部を改正する条例」等の条例議案8件、「平成27年度石垣市一般会計補正予算(第4号)」等の補正予算議案9件、「平成26年度石垣市一般会計歳入歳出決算認定について」等の決算認定9件、その他議案8件の計34件の案件が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意・認定・承認及び報告されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「平成27年度石垣市一般会計補正予算(第4号)」等8件の議案を付託。経済民生委員会には、「石垣市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例」等11件の議案を付託。建設土木委員会には、「石垣市駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」等13件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

議員提出議案については、「翁長雄志沖縄県知事の国連人権理事会における演説で、尖閣諸島の問題を取り上げをを求める意見書」、「子どもの貧困対策の強化を求める意見書」、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律等による「30人以下学級」完全実現を求める意見書」、の計3件の意見書が提出され、それぞれ可決されました。

9月14日から9月17日の4日間の日程で行われた一般質問では、17人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

庁舎建設基金積立金を増額計上
平成27年度一般会計
補正予算(第4号)
可決

9月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成27年度一般会計補正予算(第4号)」等8件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ7億3306万円を追加し、予算の総額を269億788万5千円と定めるものです。

その主な歳出の内訳としては、総務費で「庁舎建設基金積立」2億円、「地方創生先行事業」5000万円、土木費で「新空港国際線旅客施設強化事業」1036万円、教育費で「教育・保育環境整備事業」3000万円などが計上されております。

現在、市長の諮問機関である新庁舎建設基本計画策定委員会において庁舎建設に向けた議論が活発に行われており、今回の庁舎建設基金積立金を

含めると庁舎建設のための基金の合計額は、約14億円となることから予算面では新庁舎建設に向けた準備が着々と進んでいることがうかがえます。

また、経済民生委員会(大石行英委員長)及び建設土木委員会(砥板芳行委員長)においてもそれぞれ特別会計補正予算や決算認定等が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

石垣市水産加工施設条例
可決

石垣市水産加工施設条例は、施設の適正な運用を図ることを目的に、名称と位置、利用者及び指定管理者の責務等について定め、全18条と附則及び別表で構成されております。

本施設は八重山で水揚げされる水産物を加工し、様々な形で消費者へ提供することと、八重山の水産物の流通を促進するとともに漁業者の所得向上及び漁業経営安定に寄与するものとして期待されております。

台風15号被害
市議会台風被害調査

知念辰憲議長をはじめとする市議会議員団は、去つた8月23日に八重山地方を直撃した台風15号で被害を受けた公共施設などを視察しました。

そのうち、強風で屋根の一部が吹き飛ばされた八重山食肉センターでは、同センター役員から被害状況や今後の対策などを聴き取り調査しました。その他にも、電柱が倒れて道路が寸断された県道石垣港伊原間線や消波ブロックが倒壊した登野城漁港、屋根の一部が損壊した市総合体育館や八島小体育館なども調査し、今後の対策について担当課の職員と意見を交わしました。



八重山食肉センターで台風被害について説明を受ける議員団